

世界の水環境

オランダ編



日本とオランダの距離は9000km
飛行機で約11~12時間の距離にあるよ

オランダってどんな国？

オランダはヨーロッパ西部にあり、人口1755万人、面積は4万1864㎡で九州と同じくらいの大きさの国です。国土の4分の1以上が海面より低い土地で、一番高い山でも323m（富士山は3776m）。平坦な土地が多いので、国民1人につき1台以上は自転車を所有しているといわれるくらい自転車が好きな国としても有名です。

また、代々オランダエ＝ナッサウ家が統治してきた「王様のいる国」の一つでもあります。



ヨハネス・デ・レーケ

明治10年頃から、日本の各地でコレラ（感染症）が流行しました。明治15年には、東京で5000人の死者が出てしまいました。そこで、明治政府は、清潔な街をつくるため、オランダ出身の技術者であるヨハネス・デ・レーケの指導を受けて、東京に神田下水（9ページ）を設計しました。その神田下水はなんと！今でもその一部が使われています。

長崎と関係の深いオランダ

長崎とオランダの交流は、1609年にオランダ船が平戸に入港したことから始まりました。平戸領主の松浦隆信の許可の下、オランダ商館（商業施設）が建てられ、平戸は貿易港として栄えました。

その後、1634年から、長崎で出島の築造が始まりました。出島が完成して、鎖国が実施されると、江戸幕府はオランダ商館を出島に移し、出島を窓口におランダ、中国だけと交流を続けました。この間、日本はオランダから砂糖やガラス製品などを輸入するとともに、化学、医学などの知識・技術も学びました。



オランダの水環境

オランダの首都・アムステルダムは、運河が網目状に広がっている街です。「水の都」とも呼ばれ、水と関わりの深い街といえます。

昔のヨーロッパでは、汚れた水を路上に流していたので、街が不衛生になり、感染症が流行しました。また、産業革命の影響で、川や海も汚れてしまいました。このままではいけないと考えたヨーロッパの国々は法律を作って、下水道の整備を進めました。そんなオランダの現在の下水道処理人口普及率は、ほぼ100%！日本の下水道普及率は80.1%なので、かなり下水道が普及していることがわかります。

オランダでは、排水に関して厳しいルールを作って、きれいな水環境を守っているのです。



アムステルダムの運河



オランダのマンホール蓋

豆知識

オランダにはクリスマスが2回!?

12月6日のシタクラス祭はクリスマスより盛大に祝う伝統行事！

サンタクロースではなく、シタクラスが良い子にはプレゼント、悪い子にはお仕置きをするんだ。

